



01

患者さん中心



患者さん中心

01

社会との  
信頼関係構築

02

レピュテーション  
の向上

03

事業の発展

04



TAKEDA-ISM



医療従事者



患者さん



社会



政府機関



02

社会との  
信頼関係構築



03

レピュテーション  
の向上



イノベーション



医薬品アクセス



企業の社会的責任  
(CSR)



患者さん中心

01



社会との  
信頼関係構築

02



レピュテーション  
の向上

03



事業の発展

04



タケダイズム



# 04

## 事業の発展



**患者さん、社会、投資家に  
長期的な価値を創出**

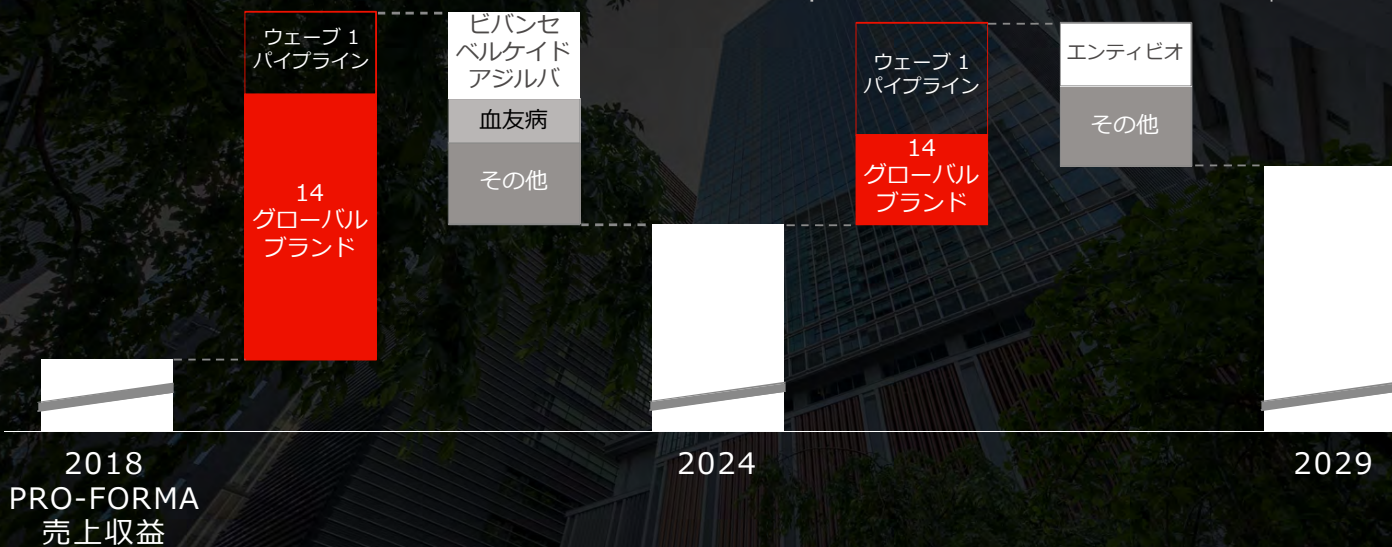
# 重点領域に フォーカスした 科学主導型企业



患者さんに  
イノベーション  
をお届けする

## 持続可能な売上収益の成長を目指す

ウェーブ 2 のパイプライン候補は含めず



注：上記のチャートは、タケタの2018年度売上収益と、1ドル=111円のレートで円貨換算し、US GAAPからIFRSに組み替えた同期間の旧Shire社の売上収益（旧Shire社のオンコロジー・ビジネスは2018年8月に売却されたため含まれていない）を合計した2018年度Pro-forma売上収益と比較した、2024年から2029年までの売上収益の概念的な変化を示したものであり、独占販売権の消失による減収を補いつつ、1行台の成長を達成する見込みを示している。タケタの発売済み製品およびパイプラインによる将来の実際の売上収益は異なる可能性があり、場合によっては大幅に異なる可能性がある。これは、臨床開発の結果が、安全性、有効性および製品の添付文書など多くの変数によって大幅に変わる可能性があるためである。さらに、製品が承認された場合の患者集団、競争環境、価格設定および保険償還などの商業上の要因の影響も不明である。ウェーブ 1パイプラインの売上収益見込みはリスク調整を行っていない。



## R&D DAYプログラム – 2019年11月21日（東京）



時刻	アジェンダ
11:00 – 11:05	<b>Welcome &amp; 演者紹介</b> 岩室 文子, グローバルファイナンス, インベスターリレーションズ 血漿分画製剤の可能性を実現する
11:05 – 11:45	ジュリー・キム, プラズマ デイライブド セラピーズ ビジネスユニット プレジデント 血漿分画製剤における革新的かつ持続可能なソリューションに特化した新たな焦点
11:45 – 12:15	クリストファー・モラビト, プラズマ デイライブド セラピーズ R&Dヘッド
12:15 – 12:45	<b>Q&amp;Aセッション</b>
12:45 – 13:25	<b>昼食</b>
13:25 – 13:35	<b>Welcome back &amp; 演者紹介</b> 岩室 文子, グローバルファイナンス, インベスターリレーションズ
13:35 – 13:45	競争力を有し経営の基本精神に基づいた、グローバルな研究開発型のバイオ医薬品のリーディングカンパニー クリストフ・ウェバー, 代表取締役社長CEO
13:45 – 14:15	<b>サイエンスから人生を変えるような高度に革新的な医薬品への変換</b> アンディ・ブランブ, R&Dプレジデント
14:15 – 14:40	<b>タケダ・オンコロジー：革新的な細胞療法&amp;腫瘍免疫における新たな領域</b> クリス・アレント, オンコロジードラッグディスカバリーユニット ヘッド 注目に値するオンコロジーの機会
14:40 – 15:00	• TAK-788: EGFR EXON20挿入変異を有する非小細胞肺癌がん患者へのFAST-TO-PATIENT戦略の遂行 レイチェル・ブレイク グローバルプログラムリード • PEVONEDISTAT (TAK-924): 高リスク骨髄異形成症候群および急性骨髄性白血病に対する新規治療の可能性 フィル・ローランズ, オンコロジー領域ユニット ヘッド
15:00 – 15:20	<b>休憩</b>
15:20 – 15:45	<b>希少疾患および遺伝子治療</b> ダン・カラン, 希少疾患領域ユニットヘッド
15:45 – 16:00	<b>ナルコレプシータイプ1治療におけるオレキシン2受容体作動薬</b> デボラ・ハートマン, ニューロサイエンス治療領域部門, グローバルプロジェクトリーダー
16:00 – 16:20	<b>セリアック病に注目した消化器における治療領域のフォーカス</b> アシット・パルク, 消化器系疾患治療領域ユニット ヘッド
16:20 – 17:00	<b>Q&amp;Aセッション</b>
17:00	<b>レセプション</b>



## サイエンスから 人生を変えうる高度に革新的な医薬品への変換



アンディ・プランプ, MD, PhD  
R&D プレジデント  
武田薬品工業株式会社  
東京  
2019年11月21日

Better Health, Brighter Future

## 本日の内容



### 1

ポートフォリオと  
パイプラインが  
成長を牽引し、  
主要特許の満了を  
オフセット

### 2

持続可能な未来を  
志向して  
新規作用機序  
および能力開発に  
投資

### 3

権限移譲、説明責任、  
機敏性を備えた  
環境を整備

# 当社は短期および持続的成長を実現できるポジションにある



## ウェーブ 1<sup>1</sup>

## ウェーブ 2<sup>2</sup>

臨床段階新規候補物質

基盤技術

承認目標	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度以降
<b>オンコロジー</b>	TAK-788 <sup>3</sup> 2L NSCLC TAK-924 <sup>3</sup> HR-MDS		TAK-007 Hematologic malignancies	TAK-924 AML	TAK-164 GI malignancies TAK-573 R/R MM	TAK-252 Solid tumors TAK-981 Multiple cancers 細胞療法および免疫誘導 標的化先天性免疫調節 次世代チェックポイントモジュレータ
<b>希少疾患</b> 免疫血液代謝	TAK-620 CMV infect. in transplant TAK-609 Hunter CNS (IT)		TAK-611 MLD (IT) TAK-755 cTTP	TAK-607 Complications of prematurity	TAK-079 <sup>4</sup> MG, ITP TAK-531 Hunter CNS TAK-754 HemA TAK-755 iTTP, SCD	遺伝子治療
<b>ニューロサイエンス</b>			TAK-935 DEE Orexin2R-ag (TAK-925/994) Narcolepsy T1		TAK-341 Parkinson's Disease TAK-418 Kabuki Syndrome WVE-120101 Huntington's Disease WVE-120102 Huntington's Disease	遺伝子治療 その他の基盤技術 RNA調節 抗体輸送媒体
<b>消化器系疾患</b>	TAK-721 EoE				Kuma062 Celiac Disease TAK-101 Celiac Disease TAK-954 POGD TAK-906 Gastroparesis TAK-951 Nausea & vomiting	遺伝子治療 マイクロバイオーム 細胞療法
<b>ワクチン</b>	TAK-003 Dengue Vaccine				TAK-214 Norovirus Vaccine TAK-426 Zika Vaccine TAK-021 EV71 vaccine	

- データの読み出しにより予測される承認取得のタイミング；一部のウェーブ1品目は迅速承認を想定
- 一部のウェーブ2品目は画期的なデータがもたらされた場合にはウェーブ1に加速される可能性あり
- Ph2データでの申請を想定した承認見込み時期
- TAK-079は希少疾患の重症筋無力症および免疫性血小板減少性紫斑病で開発の予定（患者投与開始は2019年度下期の見込み）

少なくとも一つの効能が希少疾患を含む可能性あり  
2019年11月14日時点での見込み

## 2019年：タケダにとって大きな変革の年



### SHIRE社の統合



### グローバルブランドの拡大



### 前例のない新規候補物質

- 臨床パイプラインに18品目を追加\*
- 希少疾患領域ユニットの創設
- 遺伝子治療に関するワールドクラスの能力にアクセス
- VARITY試験においてEntyvioは直接比較でアダリムマブに対し有意に高い臨床的完解率を達成し、その試験結果をNew England Journal of Medicineに発表
- TAKHZYROの適応をブラジキニン介在性血管浮腫にも拡大
- 今後5年間で中国で15製品を超える品目の承認取得を予定
- 新規候補物質17品目が臨床第2相および臨床第3相試験中
- 根治療法の可能性がある新規作用機序（例：TAK-101、オレキシン2受容体作動薬、CAR-NK）
- MD Andersonとの新たな提携関係など、細胞療法に対する機運の高まり

\* R&Dへの継続的投資によって承認された製品を含む

## 3つの重点領域における 患者中心でサイエンス・ファーストの取り組み



### 革新的なバイオファーマ



### 血漿分画製剤



希少疾患への重点的  
取り組みを補完

### ワクチンビジネスユニット



差別化された  
デング熱ワクチン

## 患者さんのための更なる取り組み



8



ピボタル試験中のBIC/FIC  
ポテンシャルを有する  
新規候補物質<sup>1</sup>



~40

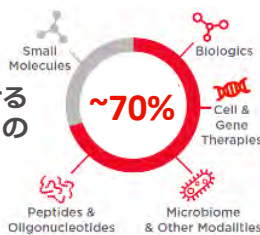
臨床試験段階にある  
新規候補薬物

~4,500

グローバルでの  
研究開発部門の従業員



研究における  
モダリティの  
多様化



~50%

オーファンドラッグ  
指定を受けた  
パイプライン<sup>2</sup>



200+

積極的な  
パートナーシップ

1. BIC/FIC ベストインクラス/ファーストインクラス（レルゴリクス含む）。2018年度は3つの新規候補物質のピボタル試験を実施  
2. 2018年のオーファンドラッグ指定は15品目であったのに対し、2019年は31品目（Ph1~ライフサイクルマネジメント段階にある品目のうち、1適応症以上のオーファンドラッグ指定を受けたもの）



# 果敢にリスクをとることにより、明確に差別化



「脳内におけるオレキシン産生ニューロンの欠損によって引き起こされるナルコレプシータイプ1 (NT1) の患者さんには、大きな治療改善ニーズが存在」

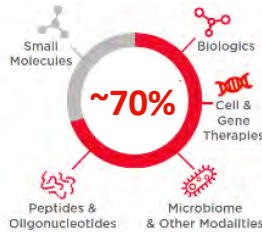


本田真医師、公益財団法人  
東京都医学総合研究所の  
睡眠障害プロジェクトリーダー

世界睡眠学会 (World Sleep conference) でデータ発表

ヒトでバリデーション  
された新規標的機序

- 細胞療法
- 遺伝子治療
- 生物学的製剤
- ペプチド
- オリゴヌクレオチド
- マイクロバイオーム
- 低分子



モダリティの多様化

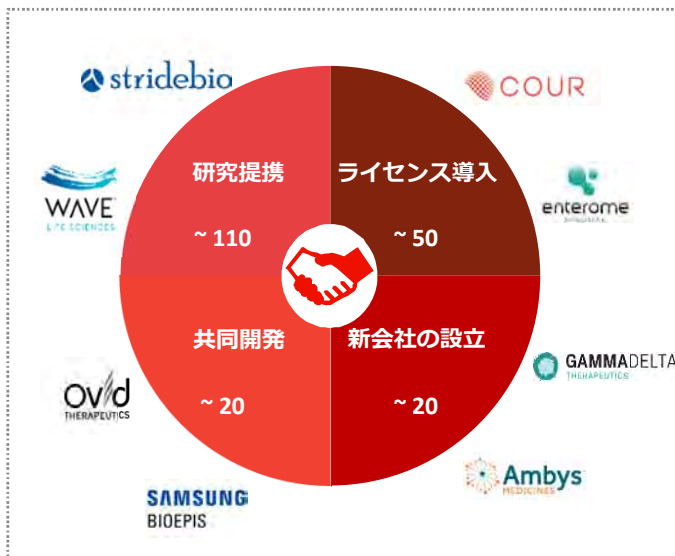
- 5 加速プログラム
- 20 2018年度以降に開発段階が進捗した新機候補物質
- 19 2018年度以降に中止または外部化された効能

迅速なGO/NO-GO  
の意思決定

# 差別化されたパートナーシップにより最高のサイエンスへと洗練



厳選されたパートナーシップ\*



\* 外部化案件やベンチャー投資は含まない

○ イノベーションへのアクセス

○ リスクの共有

○ キャパシティの拡大

上場および非上場企業の株式合計額  
**>10億米ドル**

# 由来の内外を問わずイノベーションを志向



	特徴	タケダ	パートナー由来
<p>↑</p> <p>タケダが 開発&amp;商用化</p> <p>↓</p> <p>タケダと パートナーが 共同で 開発&amp;商用化</p>	<p>バリデーションが進んでいる かつ/あるいは 低めの開発コスト</p> <p>科学的に不確実 かつ/あるいは 高い開発コスト</p>	TAK-925, TAK-994 ナルコレプシー	teva TAK-573 多発性骨髄腫
		TAK-951 嘔吐症状	Memorial Sloan Kettering Cancer Center CD19 1XX (CAR-T)
		TAK-924 骨髄異形成症候群	PPP-BIOLOGICS Kuma-062 セリアック病
		精神疾患領域のアセット	JENALI アルツハイマー病

代表的な例のみ記載

# 年間45億米ドルの研究開発投資額に対してさらなるリターンを推進



優先順位付けされたR&Dポートフォリオ

柔軟なR&Dファンディング・モデル



バランスの取れた支出

内部での支出および  
インフラを最小化



対象患者の絞り込み

比較的小規模な臨床試験、低コスト化、  
独占販売期間長期化のポテンシャル



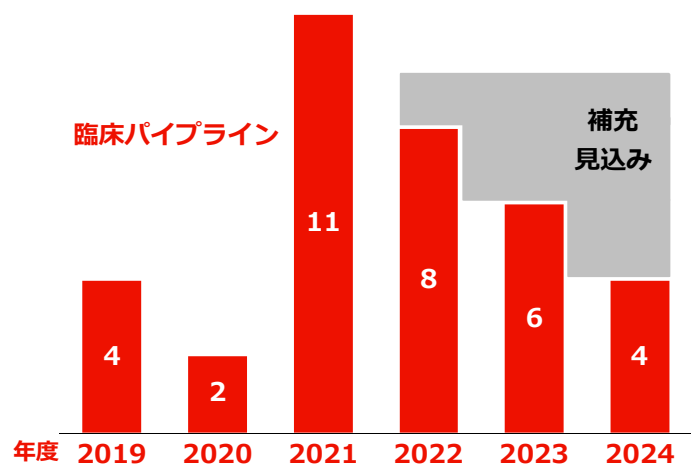
パートナーシップ・モデル

成功に基づいた  
マイルストーン支払い

# 持続可能なパイプラインを供給する研究エンジン



## 新規候補物質のピボタル試験開始予定（年度別）



注：データの読み出しが成功すると想定しての予測

## 生産性の向上

- 研究活動の成果として、2019年度中に約18課題がポートフォリオエントリーの見込み
- 細胞療法および遺伝子治療での能力強化による生産性向上の可能性
- パートナーシップの活用による最高の臨床または非臨床イノベーションへのアクセス

# 短期の成長を支えるパイプラインへの投資



## ウェーブ 1

イノベーションの拡張

新規候補物質



# グローバルブランドの拡大



## 厳選されたグローバル成長ブランド

治療疾患領域	治療薬剤	新規の適応/地理的拡大	目標 (年度)
 <b>オンコロジー</b>	 	非小細胞肺がんのファーストライン 初発の多発性骨髄腫患者における維持療法 (自家造血幹細胞移植未実施あるいは実施後)	2020 2020 / 2022
	 	ブラジキニン介在性血管浮腫 フォン・ヴィレブランド病の予防	2024 2021
 <b>希少疾患</b>	 	潰瘍性大腸炎、クローン病 (皮下投与製剤) 移植片対宿主病 (予防) 肛門周囲複雑瘻孔	2019 / 2020 2022 2021

## 厳選された地域拡大

地域	治療薬剤	地域	治療薬剤
中国		日本	 relugolix, cabozantinib, niraparib

\* VONVENDIはグローバルブランドとして新登場  
2019年11月14日時点での予測

# ウェーブ1の新規候補物質 各品目ピーク売上の合計は100億ドルを超えるポテンシャル



承認目標<sup>1</sup> → 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 2024年度

 <b>オンコロジー</b>	TAK-788 <sup>2</sup> 2L NSCLC	TAK-007 Hematologic malignancies	TAK-924 AML	14品目の新規候補物質 が上市の可能性 患者さんの標準治療を 進化させるような ベストインクラス または ファーストインクラスの 治療薬となる ポテンシャルを有する
	TAK-924 <sup>2</sup> HR-MDS	TAK-788 1L NSCLC		
 <b>希少疾患</b> 免疫 血液 代謝	TAK-620 CMV infect. in transplant	TAK-611 MLN (IT)	TAK-607 Complications of prematurity	
	TAK-609 Hunter CNS (IT)	TAK-755 cTTP		
 <b>ニューロサイエンス</b>		TAK-935 DEE	Orexin2R-ag (TAK-925/994) Narcolepsy T1	
 <b>消化器系疾患</b>	TAK-721 EoE			
 <b>ワクチン</b>	TAK-003 Dengue Vaccine			

100億ドル超のピーク売上には成功確率は織り込んでいない  
 1. データの読み出しにより予測される承認取得のタイミング；一部のウェーブ1品目は承認の加速を想定  
 2. Ph2データでの申請を想定した承認見込み時期

※ 少なくとも一つの効能が希少疾患を含む可能性あり  
 2019年11月14日時点での見込み

# …そして、人生を変えうる薬剤をお届けできるものと期待



## ファーストインクラスまたはベストインクラスの可能性を有する新規候補物質

	製品	作用機序	適応	目標承認時期 (年度) <sup>1</sup>	対象患者集団 (米国) <sup>2</sup>	対象患者集団 (世界) <sup>2,3</sup>
オンコロジー	● TAK-788	EGFR阻害剤 (exon 20変異対応)	非小細胞肺癌 - 2L / 1L	2021 <sup>4</sup> / 2023	約2千人	約2 - 3万人
	● pevonedistat (TAK-924)	NEDD8活性化酵素阻害剤	高リスク骨髄異形成症候群 / 急性骨髄性白血病	2021 <sup>4</sup> / 2024	約7千人 / 約1.2万人	1.5-2万人 / 2-2.5万人
	TAK-007	CD19 CAR-NK	血液がん	2023	約9千人	約1.5 - 2.5万人
希少疾患 免疫 血液 代謝	● TAK-609	酵素補充療法 / I2S補充	ハンターCNS (IT)	2021	~250人	約1 - 1.5千人
	● maribavir (TAK-620)	UL97キナーゼ阻害剤	移植時のサイトメガロウイルス感染	2021	約7千 - 1.5万人	約2.5 - 4.5万人
	TAK-607	IGF-1 / IGFBP-3	早産児における合併症	2024 <sup>5</sup>	約2.5万人	約8 - 9万人
	TAK-611	酵素補充療法 / アリルスルファターゼA	異染色性白質ジストロフィー (IT)	2023	約350人	約1 - 2千人
ニューロサイエンス	● TAK-755	酵素補充療法 / ADAMTS-13	先天性血栓性血小板減少性紫斑病 / 免疫性血栓性血小板減少性紫斑病	2023 / 2025	約500人 / 約2千人	2 - 6千人 / 0.5 - 1.8万人
	オレキシンプログラム	オレキシン2受容体作動薬	ナルコレプシータイプ1	2024	7万 - 14万人	30 - 120万人
	TAK-935	CH24H阻害剤	発達性およびてんかん性脳症	2023	約5万人	約7 - 9万人
消化器系疾患	● TAK-721	経口抗炎症剤	好酸球性食道炎	2020	約15万人	調査中
ワクチン	● TAK-003	ワクチン	デング熱	2021	約3,200万人	約18億人

1. データの読み出しにより予測される承認取得のタイミング。一部のウェブ1品目は承認の加速を想定  
 2. 規制当局からの承認取得を前提に、製品上市が想定される市場における治療対象患者数の予測推定値  
 3. TAK-788, TAK-924, TAK-007, TAK-607 および TAK-620については、年間発症数を対象と見なしている

4. Ph2データでの申請を想定した承認見込み時期  
 5. 現在、非ヒポタルのPh2試験実施中；中間解析の結果、ヒポタル試験に進む場合には2024年までの承認を目指す  
 ● 現在、ヒポタル試験または申請が可能となり得るPh2試験を実施中（レルゴリクスは記載せず）

# サマリー：堅固な短期の成長



2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
ENTYVIO sc UC, US, CD, JP	ENTYVIO UC/CD, CN sc UC/CD, US, EU, JP <sup>2</sup>	ENTYVIO NDMM nSCT, US, EU	ALUNBRIG 1L NSCLC, US, EU 2L NSCLC, JP	GATTEX SBS, JP	TAKHZYRO HAE, CN
GATTEX Pediatric, US	NINLARO NDMM SCT, JP	ADCETRIS FL PTCL, JP	cabozantinib 2L RCC, JP	vonoprazan Acid Reflux Dis. JP, CN	FIRAZYR HAE CN
NINLARO NDMM SCT, JP	ADCETRIS FL PTCL, EU	cabozantinib HCC, JP	VONVENDI VWD, JP	ADCETRIS FL PTCL, EU	REPLAGAL Fabry Disease, CN
cabozantinib 2L RCC, JP	vonoprazan Acid Reflux Dis. JP, CN	cabozantinib HCC, JP	VONVENDI VWD, JP	ADCETRIS FL PTCL, EU	niraparib Ovarian 1L, 2L, JP Ov Salvage 1L, JP
vonoprazan Acid Reflux Dis. JP, CN	cabozantinib HCC, JP	VONVENDI Prophyl, US, EU	OBIZUR CHAWI, EU	OBIZUR CHAWI, US	cabozantinib HCC, JP
TAK-721 Eosinophilic Esophagitis <sup>1</sup>	ENTYVIO UC/CD, CN sc UC/CD, US, EU, JP <sup>2</sup>	NINLARO NDMM nSCT, US, EU	ALUNBRIG 1L NSCLC, CN 2L NSCLC, CN	ALUNBRIG H2H alectinib, EU Post-2Gen, US, EU	NINLARO NDMM, US, EU, JP NDMM nSCT, JP
TAK-609 Hunter CNS (IT)	TAK-003 Dengue vaccine	maribavir TAK-620 CMV transplant	pevonedistat TAK-924 HR-MDS	TAK-788 2L NSCLC <sup>3</sup>	TAKHZYRO HAE, JP
ALUNBRIG 1L NSCLC, US, EU 2L NSCLC, JP	GATTEX SBS, JP	TAKHZYRO HAE, CN	VIPRIV Gaucher Disease, CN	FIRAZYR HAE CN	ALUNBRIG H2H alectinib, EU Post-2Gen, US, EU
GATTEX SBS, JP	TAKHZYRO HAE, CN	VIPRIV Gaucher Disease, CN	FIRAZYR HAE CN	REPLAGAL Fabry Disease, CN	NINLARO NDMM, US, EU, JP NDMM nSCT, JP
TAKHZYRO HAE, CN	VIPRIV Gaucher Disease, CN	FIRAZYR HAE CN	REPLAGAL Fabry Disease, CN	niraparib Ovarian 1L, 2L, JP Ov Salvage 1L, JP	ALOFISEL CPF, JP
VIPRIV Gaucher Disease, CN	FIRAZYR HAE CN	REPLAGAL Fabry Disease, CN	niraparib Ovarian 1L, 2L, JP Ov Salvage 1L, JP	VONVENDI VWD, JP	vonoprazan OD ARD, JP
ENTYVIO sc UC, US, CD, JP	GATTEX Pediatric, US	NINLARO NDMM SCT, JP	ADCETRIS FL PTCL, JP	cabozantinib 2L RCC, JP	relugolix Prostate, JP
GATTEX Pediatric, US	NINLARO NDMM SCT, JP	ADCETRIS FL PTCL, JP	cabozantinib 2L RCC, JP	vonoprazan Acid Reflux Dis. JP, CN	relugolix Prostate, CN
NINLARO NDMM SCT, JP	ADCETRIS FL PTCL, EU	cabozantinib HCC, JP	VONVENDI VWD, JP	ADCETRIS FL PTCL, EU	relugolix Prostate, CN
ADCETRIS FL PTCL, JP	cabozantinib 2L RCC, JP	vonoprazan Acid Reflux Dis. JP, CN	cabozantinib HCC, JP	VONVENDI VWD, JP	relugolix Prostate, CN
cabozantinib 2L RCC, JP	vonoprazan Acid Reflux Dis. JP, CN	cabozantinib HCC, JP	VONVENDI VWD, JP	ADCETRIS FL PTCL, EU	relugolix Prostate, CN
vonoprazan Acid Reflux Dis. JP, CN	cabozantinib HCC, JP	VONVENDI Prophyl, US, EU	OBIZUR CHAWI, EU	OBIZUR CHAWI, US	relugolix Prostate, CN
TAK-721 Eosinophilic Esophagitis <sup>1</sup>	ENTYVIO UC/CD, CN sc UC/CD, US, EU, JP <sup>2</sup>	NINLARO NDMM nSCT, US, EU	ALUNBRIG 1L NSCLC, CN 2L NSCLC, CN	ALUNBRIG H2H alectinib, EU Post-2Gen, US, EU	NINLARO NDMM, US, EU, JP NDMM nSCT, JP
TAK-609 Hunter CNS (IT)	TAK-003 Dengue vaccine	maribavir TAK-620 CMV transplant	pevonedistat TAK-924 HR-MDS	TAK-788 2L NSCLC <sup>3</sup>	TAKHZYRO HAE, JP
ALUNBRIG 1L NSCLC, US, EU 2L NSCLC, JP	GATTEX SBS, JP	TAKHZYRO HAE, CN	VIPRIV Gaucher Disease, CN	FIRAZYR HAE CN	ALUNBRIG H2H alectinib, EU Post-2Gen, US, EU
GATTEX SBS, JP	TAKHZYRO HAE, CN	VIPRIV Gaucher Disease, CN	FIRAZYR HAE CN	REPLAGAL Fabry Disease, CN	NINLARO NDMM, US, EU, JP NDMM nSCT, JP
TAKHZYRO HAE, CN	VIPRIV Gaucher Disease, CN	FIRAZYR HAE CN	REPLAGAL Fabry Disease, CN	niraparib Ovarian 1L, 2L, JP Ov Salvage 1L, JP	ALOFISEL CPF, JP
VIPRIV Gaucher Disease, CN	FIRAZYR HAE CN	REPLAGAL Fabry Disease, CN	niraparib Ovarian 1L, 2L, JP Ov Salvage 1L, JP	VONVENDI VWD, JP	vonoprazan OD ARD, JP
ENTYVIO sc UC, US, CD, JP	GATTEX Pediatric, US	NINLARO NDMM SCT, JP	ADCETRIS FL PTCL, JP	cabozantinib 2L RCC, JP	relugolix Prostate, JP
GATTEX Pediatric, US	NINLARO NDMM SCT, JP	ADCETRIS FL PTCL, JP	cabozantinib 2L RCC, JP	vonoprazan Acid Reflux Dis. JP, CN	relugolix Prostate, CN
NINLARO NDMM SCT, JP	ADCETRIS FL PTCL, EU	cabozantinib HCC, JP	VONVENDI VWD, JP	ADCETRIS FL PTCL, EU	relugolix Prostate, CN
ADCETRIS FL PTCL, JP	cabozantinib 2L RCC, JP	vonoprazan Acid Reflux Dis. JP, CN	cabozantinib HCC, JP	VONVENDI VWD, JP	relugolix Prostate, CN
cabozantinib 2L RCC, JP	vonoprazan Acid Reflux Dis. JP, CN	cabozantinib HCC, JP	VONVENDI VWD, JP	ADCETRIS FL PTCL, EU	relugolix Prostate, CN
vonoprazan Acid Reflux Dis. JP, CN	cabozantinib HCC, JP	VONVENDI Prophyl, US, EU	OBIZUR CHAWI, EU	OBIZUR CHAWI, US	relugolix Prostate, CN

■ 新規候補物質の承認の可能性  
 ■ グローバルブランドの拡張の可能性  
 ■ 地域ブランドへの拡張の可能性

## 2019年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 2024年度

1. 中国承認は2023年  
 2. クロウン病に対する皮下投与の米国承認、潰瘍性大腸炎&クローン病に対する皮下投与の欧州承認、クローン病に対する皮下投与の日本承認  
 3. 中国での承認を含む  
 4. 中国承認は2024年  
 5. 現在承認の品目に対する新たな適応症

2019年11月14日時点での年度ごとの承認見込み  
 承認目標時期は現在のデータに基づく見込みであり、今後変更の可能性がある

# 2025年度以降の持続的成長



# 新規作用機序の臨床パイプラインによる推進



承認目標 <sup>1</sup>	2025年度以降			
<b>オンコロジー</b>	<b>TAK-164</b> GI malignancies	<b>TAK-252</b> Solid tumors		
	<b>TAK-573</b> R/R MM	<b>TAK-981</b> Multiple cancers		
<b>希少疾患</b> <small>免疫 血液 代謝</small>	<b>TAK-079<sup>2</sup></b> MG, ITP	<b>TAK-754</b> HemA	<b>TAK-755</b> ITTP, SCD	
	<b>TAK-531</b> Hunter CNS			
<b>ニューロサイエンス</b>	<b>TAK-341</b> Parkinson's Disease	<b>Orexin2R-ag</b> Sleep Disorders	<b>TAK-041</b> CIAS NS	
	<b>TAK-418</b> Kabuki Syndrome	<b>TAK-653</b> TRD	<b>TAK-831</b> CIAS NS	
	<b>WVE-120101</b> Huntington's Disease	<b>WVE-120102</b> Huntington's Disease		
<b>消化器系疾患</b>	<b>Kuma062</b> Celiac Disease	<b>TAK-101</b> Celiac Disease	<b>TAK-018</b> Crohn's Disease (post-op and ileitis)	<b>TAK-671</b> Acute Pancreatitis
	<b>TAK-954</b> POGD	<b>TAK-906</b> Gastroparesis	<b>TAK-951</b> Nausea & vomiting	
<b>ワクチン</b>	<b>TAK-214</b> Norovirus Vaccine	<b>TAK-426</b> Zika Vaccine	<b>TAK-021</b> EV71 Vaccine	

革新的で治癒も期待できる新規候補物質で構成される豊富な早期臨床パイプライン

1. 一部のウェーブ 2 品目は画期的なデータがもたらされた場合にはウェーブ 1 に加速される可能性あり  
 2. TAK-079は希少疾患の重症筋無力症および免疫性血小板減少性紫斑病で開発の予定（患者投与開始は2019年度下期の見込み）

少なくとも一つの効能が希少疾患を含む可能性あり

2019年11月14日時点での見込み

# …そして、次世代の基盤技術



承認目標 →

2025年度以降

<p><b>オンコロジー</b></p>	<p><b>細胞療法および免疫関連</b></p> <p>CAR-T MSKCC, Noile-Immune T-CiRA, タケダ CAR-NK MD Anderson</p> <p>GammaDelta CAR-T GammaDelta Tx Conditional T cell engagers Maverick</p>	<p><b>標的化先天性免疫調節</b></p> <p>Attenukine テバ STING CuraDev, タケダ SUMOylation タケダ</p>	<p><b>次世代チェックポイントモジュレータ</b></p> <p>Agonist-redirected checkpoints Shattuck Humabodies Crescendo</p>	<p>細胞療法や遺伝子治療 その他 多様なモダリティの ポテンシャルも活用</p>	
<p><b>希少疾患</b></p> <p>免疫 血液 代謝</p>	<p><b>遺伝子治療</b></p> <p>血友病 ライソゾーム病</p>				
<p><b>ニューロサイエンス</b></p>	<p><b>遺伝子治療</b></p> <p>神経変性疾患 StrideBio</p>	<p><b>その他の基盤技術</b></p> <p>RNA調節 Wave, Skyhawk 抗体輸送媒体 Denali</p>			
<p><b>消化器系疾患</b></p>	<p><b>遺伝子治療</b></p> <p>肝臓 Ambys</p>	<p><b>マイクロバイーム</b></p> <p>FIN-524 Finch 微生物コンソーシアム NuBiyota</p>	<p><b>細胞療法</b></p> <p>Ambys</p>		

一部のウェーブ 2 品目は画期的なデータがもたらされた場合にはウェーブ 1 に加速される可能性あり

2019年11月14日時点での見込み

# タケダを成功に導くための能力への投資



<p><b>細胞療法</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2020年度末までに5つの臨床プログラム</li> <li>既製品(“Off-the-shelf”)の細胞療法など、既存のものを打ち砕く力のある基盤技術</li> </ul>	
<p><b>遺伝子治療</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワールドクラスの遺伝子治療薬の製造</li> <li>パートナーシップを介したイノベーションへのアクセス (例: Stridebio, Ambys)</li> </ul>	
<p><b>データサイエンス</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リアルワールドデータを活用して、臨床開発を加速 (例: TAK-788)</li> <li>機械学習を利用して、希少疾患の患者さんを特定</li> </ul>	

## タケダで働く人々へのコミットメント



## 統合プロセスを通してタケダの基本精神を体現



- 2018年12月**  
 リーダーシップチームおよび  
 R&Dオペレーティングモデルを発表
- 2019年4月**  
 パイプラインとポートフォリオを  
 組み合わせた優先順位の決定
- 2019年8月**  
 すべてのR&D従業員に  
 雇用形態について通知\*



\*法的に問題がない場合



# タケダのビジョンを実行する強力なリーダーシップ



**アシット・パリク**  
消化器系疾患領域ユニット、  
ヘッド



**フィルド・ローランズ**  
オンコロジー領域ユニット、  
ヘッド



**ダン・カラン**  
希少疾患領域ユニット、  
ヘッド



**エミリアンジェロ・ラッティ**  
ニューロサイエンス領域  
ユニット、ヘッド



**サラ・シーク**  
ニューロサイエンス領域  
ユニット、ヘッド\*

## 新たな任命

\*サラ・シークは11月25日付で退任するエミリアンジェロ・ラッティの後任

\*レギュラトリ、グローバル患者安全性評価、開発オペレーションおよび臨床サブライチェーンを含む



**スティーブ・ヒッチコック**  
リサーチ、ヘッド



**ネナード・グルムサ**  
エクスターナルイノベーション  
センター、ヘッド



**ジョージア・キレスティ**  
R&Dチーフオペレーティング  
オフィサー



**アン・ハザリントン**  
データサイエンスインス  
ティチュート、ヘッド



**ヴォルフラム・ノフザフト**  
チーフメディカルオフィサー



**ステファン・ウィルト**  
ファーマシューティカル  
サイエンス&  
トランスレーショナル  
エンジンセルセラピー、  
ヘッド



**ジェレミー・チャドウィック**  
グローバルディベロップ  
メントオフィス、ヘッド†



**ヴォルフガング・ハッケル**  
グローバルR&D  
ファイナンス、ヘッド



**エリカ・マダー**  
グローバルR&D HR、ヘッド



**コリーン・ボーレガード**  
グローバルR&D  
コミュニケーション、ヘッド



**藤本利夫**  
湘南アイパーク (iPark) 、  
ジェネラルマネージャー

# タケダで働く人々への我々のコミットメントに対する認識



# 当社は短期および持続的成長を実現できるポジションにある



## ウェブ 1<sup>1</sup>

## ウェブ 2<sup>2</sup>

臨床段階新規候補物質

基盤技術

承認目標	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度以降							
<b>オンコロジー</b>	TAK-788 <sup>3</sup> 2L NSCLC	TAK-924 <sup>3</sup> HR-MDS	TAK-007 Hematologic malignancies	TAK-788 1L NSCLC	TAK-924 AML	TAK-164 GI malignancies	TAK-252 Solid tumors	TAK-573 R/R MM	TAK-981 Multiple cancers	細胞療法 および 免疫誘導	標的化先天性 免疫調節	次世代 チェック ポイント モジュレータ	
<b>希少疾患</b> 免疫 血液 代謝	TAK-620 CMV infect. in transplant	TAK-609 Hunter CNS (IT)	TAK-611 MLD (IT)	TAK-755 cTTP	TAK-607 Complications of prematurity	TAK-079 <sup>4</sup> MG, ITP	TAK-754 HemA	TAK-755 iTTP, SCD	TAK-531 Hunter CNS	遺伝子治療			
<b>ニューロサイエンス</b>			TAK-935 DEE	Orexin2R-ag (TAK-925/994) Narcolepsy T1		TAK-341 Parkinson's Disease	Orexin2R-ag Sleep Disorders	TAK-041 CIAS NS	TAK-418 Kabuki Syndrome	TAK-653 TRD	TAK-831 CIAS NS	遺伝子治療	その他の 基盤技術 RNA調節 抗体輸送媒体
<b>消化器系疾患</b>	TAK-721 EoE					Kuma062 Celiac Disease	TAK-101 Celiac Disease	TAK-018 Crohn's Disease (post-op and ileitis)	TAK-671 Acute Pancreatitis	遺伝子治療	マイクロ バイオーム	細胞療法	
<b>ワクチン</b>		TAK-003 Dengue Vaccine				TAK-954 POGD	TAK-906 Gastroparesis	TAK-951 Nausea & vomiting	TAK-214 Norovirus Vaccine	TAK-426 Zika Vaccine	TAK-021 EV71 vaccine		

- データの読み出しにより予測される承認取得のタイミング；一部のウェブ1品目は迅速承認を想定
- 一部のウェブ2品目は画期的なデータがもたらされた場合にはウェブ1に加速される可能性あり
- Ph2データでの申請を想定した承認見込み時期
- TAK-079は希少疾患の重症筋無力症および免疫性血小板減少性紫斑病で開発の予定（患者投与開始は2019年度下期の見込み）

少なくとも一つの効能が希少疾患を含む可能性あり

2019年11月14日時点での見込み

# R&D DAYプログラム - 2019年11月21日（東京）



時刻	アジェンダ
11:00 - 11:05	<b>Welcome&amp;演者紹介</b> 若室 文子, グローバルファイナンス, インベスターリレーションズ
11:05 - 11:45	<b>血漿分画製剤の可能性を実現する</b> ジュリー・キム, プラズマ デイライブド セラピーズ ビジネスユニット プレジデント
11:45 - 12:15	<b>血漿分画製剤における革新的かつ持続可能なソリューションに特化した新たな焦点</b> クリストファー・モラビト, プラズマ デイライブド セラピーズ R&Dヘッド
12:15 - 12:45	<b>Q&amp;Aセッション</b>
12:45 - 13:25	<b>昼食</b>
13:25 - 13:35	<b>Welcome back &amp; 演者紹介</b> 若室 文子, グローバルファイナンス, インベスターリレーションズ
13:35 - 13:45	<b>競争力を有し経営の基本精神に基づいた、グローバルな研究開発型のバイオ医薬品のリーディングカンパニー</b> クリストフ・ウェバー, 代表取締役社長CEO
13:45 - 14:15	<b>サイエンスから人生を変えるような高度に革新的な医薬品への変換</b> アンディ・ブランブ, R&Dプレジデント
14:15 - 14:40	<b>タケダ・オンコロジー：革新的な細胞療法&amp;腫瘍免疫における新たな領域</b> クリス・アレント, オンコロジードラッグディスカバリーユニット ヘッド
14:40 - 15:00	<b>注目に値するオンコロジーの機会</b> • TAK-788: EGFR EXON20挿入変異を有する非小細胞肺癌患者へのFAST-TO-PATIENT戦略の遂行 レイチェル・ブレイク, グローバルプログラムリード • PEVONEDISTAT (TAK-924): 高リスク骨髄異形成症候群および急性骨髄性白血病に対する新規治療の可能性 フィル・ローランズ, オンコロジー領域ユニット ヘッド
15:00 - 15:20	<b>休憩</b>
15:20 - 15:45	<b>希少疾患および遺伝子治療</b> ダン・カラン, 希少疾患領域ユニットヘッド
15:45 - 16:00	<b>ナルコレプシータイプ1治療におけるオレキシン2受容体作動薬</b> デボラ・ハートマン, ニューロサイエンス治療領域部門, グローバルプロジェクトリーダー
16:00 - 16:20	<b>セリアック病に注目した消化器における治療領域のフォーカス</b> アシット・パリク, 消化器系疾患治療領域ユニット ヘッド
16:20 - 17:00	<b>Q&amp;Aセッション</b>
17:00	<b>レセプション</b>